

フライングディスク実施要領

1 競技規則

競技規則は、令和7年度全国障害者スポーツ大会競技規則(令和7年4月1日より実施分)によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2 競技方法

- (1) 種目は、アキュラシーとディスタンスとし、すべて競技役員(審判員)の指示にて進行すること。
- (2) アキュラシー(ディスリートファイブ、ディスリートセブン)
 - ア プレーヤーは、10投連続して試技するものとする。
 - イ スローイングの方法は、どの投げ方でも認められる。
 - ウ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分を超えた試技は、無効とする。
- (3) ディスタンス(立位、座位)
 - ア プレーヤーは、1投の練習(テストスロー)の後、連続して3投試技するものとする。
 - イ スローイングの方法は、どの投げ方でも認められる。
 - ウ 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分を超えた試技は、無効とする。
 - エ 記録は、3投中最も距離の遠い着地点を計測する。
- (4) 競技上有利となる用具の使用は認めない。

3 受付

会場に到着したら、受付テントで受付を行う。市町村、施設、学校については、引率者がまとめて受付を行う。

ディスタンス競技の出場選手は、アキュラシー競技の受付時間に受付してもよい。

4 招集

- (1) 招集開始時刻は、原則としてその組の競技開始20分前とする。
- (2) 選手は、競技開始10分前までに選手招集所に集合し、番号布(ゼッケン)等により競技役員の点呼を受けること。
- (3) 招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。

5 用具

競技に使用する公式ディスク及び練習会場で使用するディスクについては、主催者で用意する。

6 番号布

番号布(ゼッケン)は、主催者が交付したものを競技用服装の胸部及び背部に付ける。

7 表彰

各組終了後、1位から3位までを表彰する。

8 その他

- (1) 原則として、雨天であっても競技実施とするため、雨具は各自で準備するものとする。
- (2) 選手の待機場所は特に設置しないため、必要なテント及びシート、椅子等は各自で準備すること。